



平成30年3月19日

市民フォーラム 2018
「てんかんを考える」を開催します
IN 三次

「てんかん」は、年齢を問わず発症する脳の慢性疾患です。けいれんや意識消失などの発作を繰り返すことがあります。現在の医療では、適切な治療で発作をコントロールすることができる場合も多く、薬が効かない難治性てんかんに対する外科治療も進歩しています。国内には約100万人、100人に一人が「てんかん」を発症していると言われていますが、残念ながらどんな病気なのか、正しく理解されていないのが実情です。

今回の市民フォーラムでは、「てんかん」の専門医が最新の治療法の紹介や患者さんが充実した生活を送るためのアドバイスをわかりやすく解説します。

三次市での市民フォーラム開催は、初めてのことです。

ご多用の折とは存じますが、取材していただきますようお願い申し上げます。

記

日時：平成30年3月25日（日）13時30分～16時（開場13時）

会場：市立三次中央病院（三次市東酒屋町10531）

定員：70名

入場：無料

主催：広島大学病院（広島県指定てんかん診療拠点機関）

広島大学病院てんかんセンター

【本件に関する問い合わせ先】

広島大学病院てんかんセンター事務局

Tel : 082-257-1719 FAX : 082-257-1719

【取材に関する問い合わせ先】

広島大学病院 特命広報・調査担当役 菅川（すげかわ）幹人

Tel : 082-257-5418 FAX : 082-257-5087

E-mail : byo-toku-chousa@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

てんかんと考える

in 三次

てんかんは年齢を問わず発症する病気で、特に3歳以下と60歳以上で発症することが多い疾患です。
現在の医療では、適切な治療で発作をコントロールすることが可能な場合も多く、
薬が効かない難治性てんかんに対する外科治療も進歩しています。
今回の市民フォーラムでは、専門医が、最新の治療法の紹介や患者さんが
充実した生活を送るためのアドバイスをわかりやすく解説します。

3/25日

日時

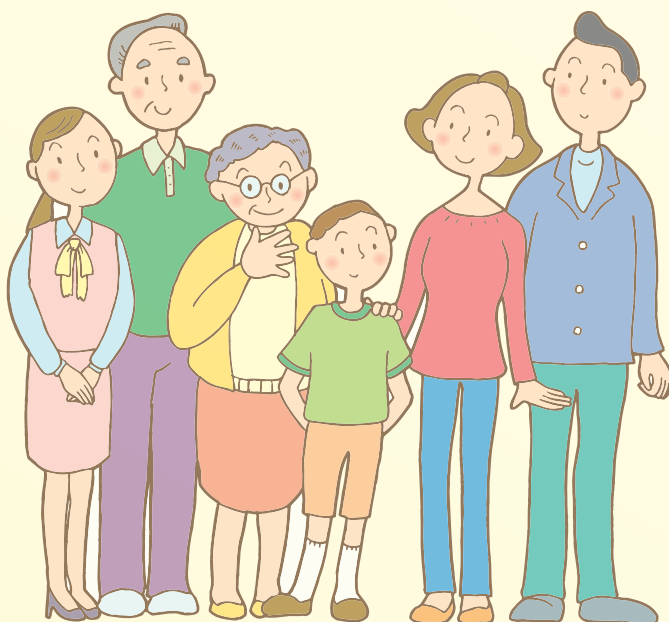
13:30~16:00 (開場13:00)

会場

市立三次中央病院
三次市東酒屋町10531

参加者
募集

入場無料
定員 70人



開会挨拶

広島大学病院てんかんセンター長 飯田 幸治 氏

講演

① 青年期を見据えた小児てんかんの治療

講師 広島大学病院てんかんセンター 副センター長
石川 暢恒 氏

② 難治性てんかんの治療

～ライフステージを考慮した手術のタイミング～

講師 広島大学病院てんかんセンター センター長
飯田 幸治 氏

お知らせ

福祉制度利用に関して 広島国際大学 医療福祉学部 助教 田川 雄一 氏

質疑応答

事前にご応募いただいた質問を専門医が適切にお答えいたします

閉会挨拶

市立三次中央病院 脳神経外科 医長 浜崎 理 氏

総合司会：広島大学 副理事（広報担当） 山内 雅弥 氏

お申し込み・お問い合わせ

広島大学病院てんかんセンター事務局
広島市南区霞1-2-3

TEL 082-257-1719 (土日祝を除く10:00~16:00)

てんかんに関する質問がある方は
FAXでご応募ください。

FAX 082-257-1719